

# 「潜在的需要の掘り起こしを」

ダク異形  
管工業会  
品質管理活動充実へ



村瀬会長

日本ダクタイル異形管工業会は14日、都内で第58回定時総会を開いた。平成29年度事業報告や30年度事業計画などの議案はすべて了承された。表彰も行われた。

これまで会長を務めていた平山太一・朝日鑄工社長に代わり5月16日の常任理事会で会長に就任している村瀬充・村瀬鉄工所社長は「ここ4、5年をみると毎年数%落ちており大変厳しい状況だが、潜在的な需要はある。いかに需要を掘り起こし我々の仕事に結びつ

けるかが課題だ」と述べた。また、昨年鉄鋼メーカーなどが起こした不正事件を例に挙げながら「気を引き締めなければならぬ。工業会マークのついている製品は安全だ」ということを周知徹底しお客様に提供していき

いて各社に呼びかけた。30年度の事業計画によると、会員各社における品質管理活動の充実に向け、過去に発行した品質標準書の周知を図る。ホームページ会員専用サイトからの各社への技術情報発信や人材育成に関

する支援なども実施する。技術委員会研修会も来年3月に大阪・東京会場で開催する。なお、表彰では平山前会長、吉田哲夫氏（クボ鉄工所）に、感謝状と記念品が贈られた。